



認知症についての相談・講座など

[担当課 地域包括ケア推進課(0467-77-1116)]

○ **認知症ケアパス** 認知症ケアパスは、認知症の方の状態に応じたサービス提供の流れを示したものです。ここでは、アルツハイマー型認知症の場合を中心に、ご本人の症状の変化や過ごし方についての情報を掲載しました。症状には個人差があるため、すべての方に当てはまるものではありませんが、参考としてください。

認知症が心配な時には、普段の様子を知っている**かかりつけ医**にまずは相談しましょう。必要な場合には、専門医療機関などを紹介してもらいましょう。介護保険のサービスの利用については、地域包括支援センター（P10）で相談できます。

認知症の進行	健康⇒物忘れが気になる（日常生活は自立）	そろそろ見守りが必要	日常生活に手助け・介護が必要	常に手助けが必要
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ○物忘れが増えた ○同じ話を繰り返すようになった ○物をなくすことが増えた ○外出がおっくうになった ○なんとなく不安、気持ちが落ち込む ○頭がすっきりしない 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しいことが覚えられない ○慣れた道で迷うことがある ○金銭の管理が難しくなる ○薬を飲み忘れる・間違えて飲む ○身だしなみをかまわなくなった ○食事の支度が困難になる ○火を消し忘れる ○季節に応じた服を選べない ○電話や家電の操作が難しくなる ○生活リズムが乱れがちになる 	<ul style="list-style-type: none"> ○日にちや季節が分からない ○道に迷って帰れない ○衣服の着脱の仕方が分からない ○トイレの場所が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○会話が困難 ○歩行が困難 ○眠っている時間が増える
本人や家族の過ごし方 ・ 備えておくこと	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭内での役割、趣味や地域のボランティア活動など、今までやってきた活動はやめずに続けましょう。 ○心配事は抱え込まずに相談しましょう。 <p>元気な時に将来の生活や最期の過ごし方などについて家族に話しておきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1人で行うのが難しいことは、まわりの方に手伝ってもらいましょう。 ○困っていることは抱え込まずに相談しましょう。 ○これまで通り、外出やご近所との関わりを継続しましょう。 <p>何らかの「活動」に取り組むことが認知症などを予防し、「元気」に生活することにつながります。物忘れなどが不安になると活動や外出を控えがちになりますが、なるべく外との関わりを持ち続けることを心がけましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ご自身での体調管理が困難になるため、まわりの方と一緒にいきましょう。 ○ご家族やまわりの方は、介護の負担を抱え込まないようにしましょう。 <p>ご家族やまわりの方の介護疲れも心配です。介護保険のサービスなども利用し、ご本人とまわりの方がリラックスできる時間も持ちましょう。</p>	

介護保険	介護サービスの情報収集・申請の相談	介護保険の申請・認定の取得	介護サービスの利用	介護サービスの利用
------	-------------------	---------------	-----------	-----------

認知症の方等への支援・サービスなど	相談	認知症の相談窓口（P 1 3）		
	予防・つながり	認知症カフェ（P 1 4）		
		各種教室・講座（P 1 8）		
		集いの場（P 1 7）		
		就労・地域貢献（P 1 5）		
	医療	かかりつけ医／専門医療機関		
	生活支援	日常生活自立支援事業／成年後見制度専門相談（P 1 4）		
認知症等行方不明SOSネットワーク（P 1 4）				
認知症等行方不明位置探索サービス（P 1 4）				